

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年十月度 入選句（投稿総数二千五百五十一句・一般投句数七百五十句）

特選

磨きたるガラス限なく秋の空

養老郡養老町 田中 秀子

「限なく」がこの句を活している。
ガラス戸をを掃除をしてガラスを磨いている心情がよく出ていて秋の空の真青がそれを言はなくても心に響き読者に與へる句。

秋雲や旅の計画出来上がる

京都府宇治市 八田 弥須子

台風の季節も過ぎて澄みきつた空を見上げた時、旅へ誘う心が動くのは誰しも同じであろう。
計画が出来上つた心情がよく出ている。上五句の「秋雲や」とあるが計画をよく活している。單に秋雲とあるが、縹雲だろうか、鯖雲か、鱗雲か、心はすでに旅宿の窓辺である。楽しい句。

秋の滝一切の音一つにす

大垣市 高田 雅章

滝の裏音に身を置いた句。滝の音以外に何も聞こえない一瞬を捕えた佳句。「音一つ」で何も言っていないのがよい。

秀逸

絵手紙の彩り淡くねこじやらし

大垣市 佐竹 余史美

関ヶ原覇者も敗者も花野かな

大垣市 平野 きぬよ

草を刈る匂ひ集めて風の中

大垣市 日比 昌子

新道に断たる街道赤のまま

大垣市 小林 研

つくつくし何処も合戦跡地なる

不破郡垂井町 小畑 美智子

天高し化粧なほしの大鳥居

大垣市 久保田 悟義

決壊の碑を囲みたり曼珠沙華

大垣市 岡田 あや子

実むらさき風なきときも色こぼす

不破郡垂井町 竹嶋 富美子

秋天を突き刺すスカイツリーかな

愛知県名古屋市 山田 雅之

金文字の墓碑新しき白露かな

神奈川県横浜市 龍野 ひろし

入選

灯を消してより虫時雨高音なる
招かれて集ふ至福の敬老会
落ちてなお艶やかなりし酔芙蓉
古戦場いろなき風に暮るるなり
風鈴の鳴き止む夜の静寂かな
川辺りや三尺俳句青葉風
トンネルの口より霧のあふれ出づ
遠き日の祖母を忍べり菊枕
鈴虫の声廃校の跡にかな
今日もまた秋刀魚主役の日酒かな

福井県福井市	三ツ山 ひろし
安八郡神戸町	早津 郁男
大垣市	安田 むつこ
大垣市	岩田 唯志
大垣市	永江 美佳
大垣市	浅井 高男
福井県敦賀市	山田 美千代
大垣市	川瀬 喜梅古
大垣市	安田 直隆
大垣市	佐々木 和子

入選

行く末を雲にまかせて秋の暮
無花果に群れゐる鳥の小競り合ひ
バス停に噂の二人草風
伊吹嶺を遥かに朝の鵲高音
秋の潮白帆は点となにけり
ここだけの話はずむや青みかん
弾き終へしピアノの余韻秋惜しむ
終点の大垣駅や水の秋
蕎麦の花見とれておなじ風の中
京の庭色深みゆく実むらさき

大垣市	安福 けい子
大垣市	田中 雅子
大垣市	佐藤 すみ子
岐阜市	堀江 美州
安八郡輪之内町	野村 照子
大垣市	吉田 てるみ
神奈川県横浜市	龍野 ひろし
愛知県豊田市	城山 憲三
三重県四日市市	後藤 允孝
大垣市	片山 洋紅

選者吟

風の出で捨て風鈴の鳴く夜かな